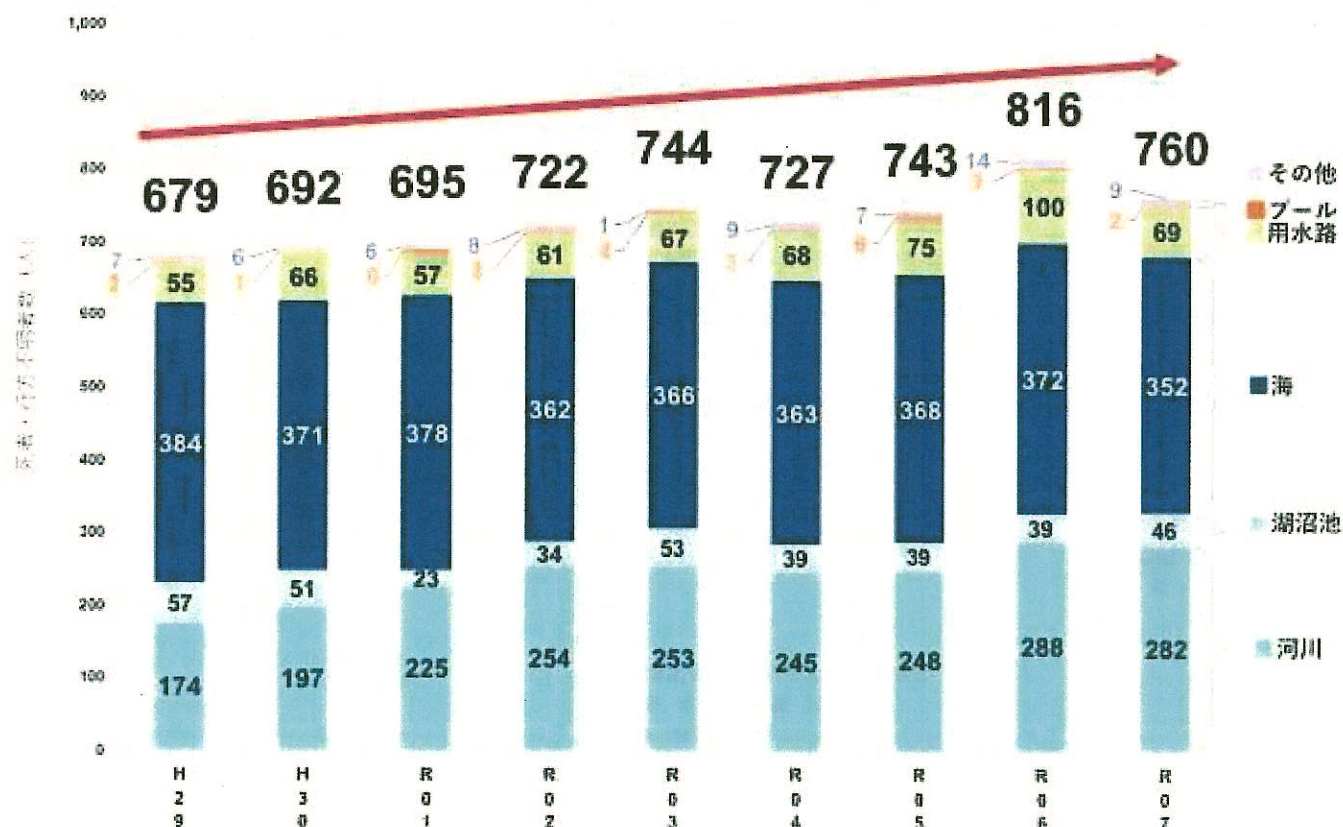


(全体)
水難事故による死者・行方不明者数は
近年増加傾向

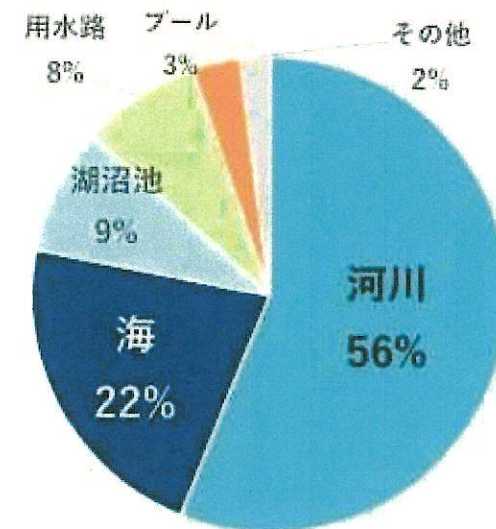
毎年600-900名程の人が犠牲となっており、
河川はその3-4割を占める等増加傾向

(中学生以下)
子どもは「河川」での
水難事故が最多



場所別の死者・行方不明者数(総数)の推移

警察庁資料「水難の概況」より河川財団作成



中学生以下の子どもの
場所別死者・行方不明者数
(H29-R7)

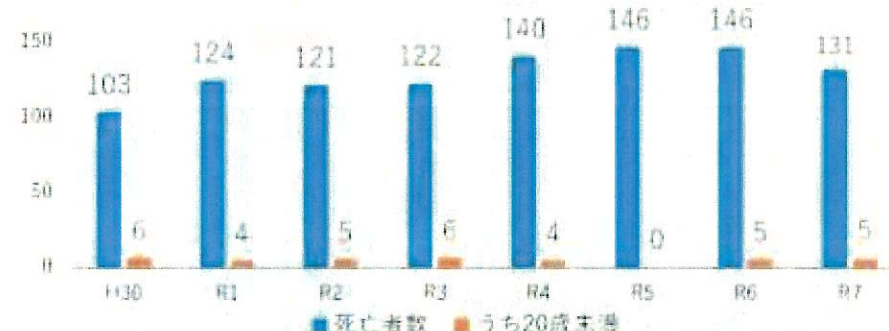
警察庁資料「水難の概況」より作成

用排水路、ため池等への転落事故における死亡者数

用排水路、ため池等への転落事故における死亡者数は、毎年**100人以上**となっています。

このうち子供（20歳未満）の死亡者数は、毎年5人程度となっています。

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
死亡者数	103	124	121	122	140	146	146	131
うち10歳未満	3	2	2	3	1	0	2	3
うち10歳以上20歳未満	3	2	3	3	3	0	3	2



用排水路の危険性

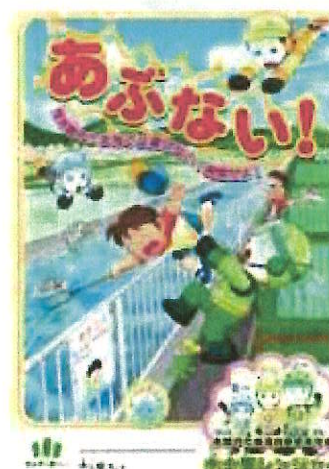
ゲリラ豪雨などが発生すると、一気に水路の水位が増水し危険なため、用排水路などへ近づいたり、遊ばないように注意してください。



転落事故防止の啓発ポスター (全国土地改良事業団体連合会 作成)

別添

全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）では、ため池や用排水路などへの転落防止を呼びかけるポスターを作成し、無償でデータ提供していますので、御活用ください。



【農業用水利施設の安全対策啓発ポスター】



農業の用排水路及びため池への転落事故防止のための啓発ツール

■農業用排水路転落防止マンガ①



■農業用排水路転落防止マンガ②



こどもの河川水難事故防止に向けたポイント

こどもに知って欲しい3つのポイント（+引率者）

動画等でも紹介



河川水難事故防止に重要な、上位事項を整理

